

2026年4月27日  
株式会社TRUSTDOCK

## TRUSTDOCK、ICチップ読み取りのみで本人確認を完結する 「ICチップ確認プラン」を提供開始

— 撮影・パスワード不要で離脱を抑制し、未成年の本人確認など対応ケースを拡張 —

株式会社TRUSTDOCK（本社：東京都中央区、代表取締役：千葉 孝浩）は、eKYC（オンライン本人確認）サービス「TRUSTDOCK」において、ICチップ読み取りのみで本人確認を完結できる「ICチップ確認プラン」を提供開始しました。

本プランにより、セルフィー撮影や公的個人認証（JPKI）のパスワード入力を必要とせず、ユーザーの負担を大幅に軽減したシンプルな本人確認フローの構築が可能となります。

NEWS RELEASE

TRUSTDOCK

### ICチップ読み取りのみで本人確認を完結する 「ICチップ確認プラン」を 提供開始

撮影・パスワード不要で離脱を抑制し、  
未成年の本人確認など対応ケースを拡張



#### サービスリリースの背景とねらい

##### ユーザー負担と離脱を招く従来の本人確認プロセスを、ICチップ活用で刷新

従来のオンライン本人確認では、個人情報の入力やセルフィー撮影、公的個人認証のパスワード入力といった複数のステップが必要であり、ユーザーにとって大きな負担となっていました。

特に、公的個人認証におけるパスワード忘れや、セルフィー撮影の手間は、手続き途中での離脱要因となり、事業者にとっても機会損失につながる課題となっています。また、顔写真のない未成年向けマイナンバーカードを用いた本人確認など、従来の方式では対応が難しいケースも存在していました。

TRUSTDOCKでは、ICチップ内の情報を活用し、ユーザー自身による確認プロセスを組み込むことで、シンプルかつ実用的な本人確認フローを実現しました。これにより、離脱率の低減と新たなユースケースへの対応を可能にします。

## ICチップ確認プランによるユーザー体験の変化



### 「ICチップ確認プラン」とは

「ICチップ確認プラン」は、身分証のICチップから読み取った情報を画面上に表示し、ユーザー自身が内容を確認することで本人確認を実施します。これにより、セルフイー撮影や公的個人認証（JPKI）のパスワード入力を不要とし、よりスムーズで離脱しにくい体験を提供します。また、顔写真のない未成年向けマイナンバーカードを用いた本人確認など、従来の方式では対応が難しいケースにも対応可能となります。

なお、本プランはセルフイー照合を行わないため、犯罪収益移転防止法などの業法に基づく本人確認方式には単体では対応しませんが、用途に応じて柔軟に活用することが可能です。

対応身分証：マイナンバーカード／運転免許証／在留カード／特別永住者証明書

### ユースケース

- ・未成年を対象としたサービス（例：ジュニア向け金融サービス、会員登録）
- ・ユーザー体験のシンプルさが重視されるサービス
- ・業法対象外のサービスにおける本人確認
- ・郵送確認などと組み合わせた本人確認フロー

### eKYCサービス「TRUSTDOCK」について

「TRUSTDOCK」は、eKYC（オンライン本人確認）業務に関するソリューションを、顧客ニーズに合わせてワンストップでご提供する、累計導入社数業界No.1※のサービスです。

犯罪収益移転防止法をはじめ、各種法令に対応したeKYC手法を専門的知見からご提案。法人確認や反社会的勢力リスクチェックにも対応しており、さまざまなAPIを組み合わせて、行政・金融・人材・不動産・ECなど幅広いサービスでスマートな身元確認を実現しています。

さらに、APIやSDKなどテクノロジー基盤の提供だけではなく、24時間365日の確認作業まで一気通貫で対応。本人確認業務における「法令対応」「テクノロジー」「業務プロセス」のすべてを一体化

し、“適切な本人確認がなされている状態”を提供するBPaaS（Business Process as a Service）モデルのeKYCサービスとして、最適なDXソリューションをご提案いたします。

サービスサイト：<https://biz.trustdock.io/>

※ 2024年12月時点での、eKYCのコア機能を自社開発しているサービスにおける導入社数（東京商工リサーチ調べ）

株式会社TRUSTDOCKは、公的個人認証サービスにおける署名検証者（プラットフォーム事業者）の主務大臣認定を、2025年9月26日（金）付で新たに取得いたしました。

これにより、民間事業者はTRUSTDOCKのシステム基盤を用いて、マイナンバーカードの電子証明書を活用したサービスを提供できるようになります。これまで培ってきた技術力・セキュリティ体制をもとに、「公的個人認証の社会実装を支えるインフラ事業者」として、日本のデジタル社会の発展に貢献してまいります。

参考：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000366.000033766.html>

## 【会社概要】

社名：株式会社TRUSTDOCK

所在地：東京都中央区京橋3-1-1 WeWork東京スクエアガーデン

代表取締役：千葉 孝浩

URL：<https://trustdock.co.jp/>

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社TRUSTDOCK

担当：広報 吉原（よしはら） [pr-team@trustdock.io](mailto:pr-team@trustdock.io)

画像DLは[こちら](#)